

# 市民講演会

# あなたも銀河の謎に挑戦!

～すばる望遠鏡がとらえた銀河の分類をしよう～



©国立天文台

おたまじゃくし銀河(UGC 10214)

星座 りゅう座

距離 4億光年

小さな銀河がこの棒渦巻銀河の近くを横切り、銀河同士が重力を及ぼしあったと考えられます。その時におたまじゃくし銀河内の恒星やガス、ちりが引き延ばされ、約28万光年の長さの、おたまじゃくしの尾のような構造が作られました。

宇宙にはなぜ多種多様な銀河があるのでしょうか。ほかの銀河とすれ違ったり、衝突したりして、変形した銀河を調べることで、銀河がどのように成長したかを知ることができます。

すばる望遠鏡の超広視野主焦点カメラ(HSC)がとらえた様々の銀河を、みんなで一緒に分類してみませんか。



©国立天文台

衝突銀河1

(UGC 12589 & 2MASX J23250382+0001068)

星座 うお座

2つの渦巻銀河がお互いの重力で引き合い、形を乱しあっています。

## 講師ご紹介

白田-佐藤 功美子先生

(うすだ-さとう くみこ)

国立天文台

天文情報センター

特任専門員



## ご活動

2013年までの15年間、ハワイ島にて、地元根ざした天文学普及活動を展開

現在は、誰でもすばる望遠鏡のデータに触れられる「市民天文学」プログラムを構築中

## トピックス

視覚障害者や聴覚障害者も楽しめる活動を行っており、国立天文台三鷹の見学コースに音声ガイドを設置しました。

また、3Dプリンタを使って、触って理解できる「すばる望遠鏡」などの模型開発を行っています。

2015年に出版した「大宇宙 驚異の新発見」(河出書房新社)では、図の説明を丁寧に書いたことが評価され、視覚障害者が聞ける音声ファイルになりました。

12/16(日)

13:15~14:30

かわさき宙と緑の科学館  
2階学習室

入場無料/事前申込不要



主催 川崎天文同好会

<https://www.kawaten.com/>

共催 川崎市教育委員会(かわさき宙と緑の科学館)

<http://www.nature-kawasaki.jp/>

協力 渋谷星の会

[http://www.geocities.jp/shibuya\\_star/](http://www.geocities.jp/shibuya_star/)

